

第 27 回豊橋市小中高特連携教育推進協議会議事要録

令和 2 年 11 月 26 日 開 催

豊 橋 市 教 育 委 員 会

第 27 回 豊橋市小中高特連携教育推進協議会（イマージョン教育見学会）	
日時	令和 2 年 11 月 26 日（木）午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
場所	豊橋市立八町小学校
構成員	山西正泰 教育長                      内浦有美 教育委員                      西島豊 教育委員 高畑尚弘 時習館高校長              木下勝義 豊橋東高校長              石田徹 豊橋西高校教頭 峯田博行 豊橋商業高校教頭      杉浦均 新川小学校長              竹田敏彦 天伯小学校長 神田守栄 羽田中学校長              山内潤次 豊岡中学校長              大林利光 教育部長 ※欠席者：渡辺嘉郎 教育委員、中島美奈子 教育委員、平松直哉 豊丘高校長 森島日出夫 豊橋南高校長、藤城義光 豊橋西高校長、加藤一史 豊橋工業高校長 白井由美子 豊橋商業高校長、丸崎恵子 豊橋高校長、栗名廉 豊橋聾学校長 白濱菜穂子 豊橋特別支援学校長、山川恭子 くすのき特別支援学校長 岩瀬佐知子 二川小学校長、駒木正清 教育監
ワザ-ハ-	満田康一 桜丘学園理事長、住田政太郎 学校教育課課長補佐
会場校	佐藤充宏 八町小学校長、稲田恒久 八町小学校教頭
事務局	角野洋子 教育政策課長、中村三木也 学校教育課長 他（全 8 名）

日 程

- 1 イマージョン教育説明
- 2 イマージョン授業参観
- 3 イマージョン教育についての情報交換会

## 1 イマージョン教育説明

◆八町小学校稲田恒久教頭によるイマージョン教育についての説明

## 2 イマージョン授業参観

◆1～6年生のイマージョン教育コースの授業を各自参観

## 3 イマージョン教育についての情報交換会

(豊橋東高校 木下校長)

イマージョン教育コースと通常コースでは、授業の進度に差が出ているのか。また、イマージョン教育コースは通常コースと同じ教科書を使っているのか教えていただきたい。

(八町小学校 稲田教頭)

授業の進度に差はほとんど出ていません。しかし、算数の授業では、教科書に出ている練習問題については授業内で実施することはできていますが、問題集などの反復学習については、家庭学習として実施しているのが現状です。また、社会の授業では、教科書の内容を理解するために時間が多く必要となり、話し合いの時間がなかなかとれない状況です。教科書については、イマージョン教育コースも通常コースも同じ教科書を使用しています。ただし、イマージョン教育コースでは、教科書を英訳したプリントを補助教材として使用しています。

(時習館高校 高畑校長)

イマージョン教育コースで使用する教材について、教科書と教科書を英訳したプリントを使用しているということですが、それ以外の教材も作成しているのではないかと思います。独自の教材を作成するにあたり苦労があるかと思いますが、工夫していることなどがあつたら高校でも参考にしたいと思えます。また、低学年の授業においても、かなり難しい英単語が使われていましたが、子どもたちが英単語等の理解をするために工夫していることがあつたら教えていただきたい。

(八町小学校 稲田教頭)

教材の準備については、日本人の翻訳担当者と日本語が堪能な外国人の翻訳担当者の2名が中心となって行っています。教科書の翻訳以外に、本日の授業でも活用していましたが、テレビ画面に映すパワーポイントなどのデジタルコンテンツの資料を担当と外国人英語教員で作成しています。また、教科書会社によっては、マルチリンガル教科書があるので、それを活用しています。英単語等の理解については、イマージョン教育自体が英語に浸ることですので、学習に関係する英単語はそのまま使用しています。単語帳などを作成している子どももいます。子どもたちは、板書などで多くの英単語を目にしながら耳で聞きとっているため、聞いた英単語についてだんだんと書けるようになっています。

(新川小学校 杉浦校長)

小学校学習指導要領が改訂されて、「主体的・対話的で深い学び」などが求められているため、イマージョン教育では大変だろうと思っていましたが、今日の授業を見て、楽しそうに子どもたちが取り組みながら英語と日本語を交えて学習できているため安心をしました。1

年生や2年生が英語を使って授業をしている姿を初めて見ましたが、低学年からイマージョン教育を行っていけば、豊橋版イマージョン教育の目的でもある「グローバル社会で活躍することができる子ども」が育つように感じました。

(羽田中学校 神田校長)

杉浦校長と同様に、授業を見て安心をしました。オールイングリッシュでどのように授業を行うのかと思っていましたが、学年に合わせて英語と日本語を併用しながら授業を行っているため、だんだんと英語を身につけているのがよくわかりました。通常コースの学級でも、英語の掲示物等がありましたが、イマージョン教育コースの設置によって、通常コースの学級にも何かよい影響がありましたか。

(八町小学校 稲田教頭)

通常コースの学級へよい影響を与えていくことも課題の一つです。校内に多くの外国人英語教員が在籍していることで、通常コースの子どもたちも英語に触れる機会が多くなるということで、保護者には理解をいただいています。体育については、通常コースとイマージョン教育コースが合同で実施しており、英語を使って授業を行っています。また、通常コースの3～6年の英語授業については、英語が専門の教員が行っています。通常コースの子どもたちに、今以上のメリットがあるように、今後も工夫をしていきたいと考えています。子どもたちからは、「外国人の先生がたくさんいて楽しい」という声もたくさん聞いています。

(西島教育委員)

教職員アンケートの生活面に、「担任がクラスの児童に思いを伝えたりする時間がなかなか取れない」とありますが、その課題に対しての認識が共有できればと思いますが、どのような状況でしょうか。

(八町小学校 稲田教頭)

今年度は、初年度ということで日本人教員と外国人英語教員が打合せをする時間が多く必要となり、打合せのための時間を多く設定しています。放課も打合せを行うことが多くあり、子どもとの触れ合いの時間がなかなか取れないと感じている教員が多くいるかと思います。更に、イマージョン教育コースの国語と道徳については、国語や道徳の指導力の高い、担任以外の教員が行うことで、担任と外国人英語教員が打合せを行う時間をつくっていますが、そのことによって、担任の先生方が、通常コースの担任よりも授業時数が減り、子どもたちと触れ合う時間が少ないと感じている一因になっているかと思います。

(西島教育委員)

通常コースは1人で授業を行うわけですが、イマージョン教育コースについては2人で相談しながら授業を行うためより大変になるわけですが、今後も子どもとの触れ合いの時間の確保については課題になってくるかと思います。

(山西教育長)

イマージョン教育については、市議会でも多くの質問をされますが、「公教育として平等なのか」という質問に対しては、「特認校制度を活用しているため、市内のどの地域からでも入級できる」「能力ではなく、くじで入級抽選をしているため誰でも入級できる」「学習指導要領に準じた指導を行い、採択された教科書を使用している」と回答しています。小学校卒業後の進路については、子どもの学びを保障するという面から小中高特の連携が必要になります。小学校卒業後の進路の選択肢については、「地元の中学校に進学する」「豊城中学校に進学する」「桜丘中学校に進学する」「岡崎市の愛教大附属中学校に進学する」の4つかと思います。子どもたちが、今後も英語を使いながら勉強したいと考えた場合、先程の4つの選択肢から選んで中学校に進学した後、高等学校も選択して進学することになるため、小中高特連携の面からも今後も様々な場面でご意見をいただければと思います。

(内浦会長)

八町小学校の先生方が、努力を惜しまず質の高い教育をされていることに頭が下がる思いです。通常の学校経営だけでも大変だと思いますが、イマージョン教育を融合させた学校経営は何倍も大変なことかと思えます。山西教育長からお話のあった「公教育の平等性」以外にも、「市民の期待」や「企業や経済界からの期待」という面から、多くの期待を背負っている教育になります。期待が大きいため今後も注目され続けることになるかと思えます。イマージョン教育については、現状維持だけでも大変ですが、今後の発展性を求められることとなりますので、豊橋市小中高特連携教育推進協議会としても、今後、話題として取り上げながら検討していく必要があるかと思えます。